

## 編集後記

●子どもが「心を開いてくれた」と感じる瞬間を探っていくと、それは「どんなことを心がけて、子どもたちにかかわるか」というベーシックな課題を探ることに重なるようです。子どもたちをしっかりと見、変化に気づき、丁寧にかかわっていくと、「心を開いてくれる」というプレゼントがもたらされます。そして、「私たちの仕事はそこが始まり」という言葉に、教員という仕事の厳しさ、奥の深さを感じました。(こ)

●特集2を読むと、一口に睡眠不足といっても、その子どもたちが持つ背景はさまざまとわかります。夜遅くまで働いている親が心配だったり、一日10時間ほど寝なくては行けない体質だったり、ただ生活リズムを正せば解決するということではないようです。そうした子に気づき、「あなたのことを大切に思っているよ」というメッセージを伝えるのが「ちゃんと眠れている？」という問いかけなのだと改めて思いました。(た)

## 次号のお知らせ

### 特集1 「ほめて失敗した場面」を振り返る

ほめることで、かえって子どもの成長を妨げたり、時には反発されてしまうことがあります。「ほめて失敗した場面」を振り返りながら、ほめることの落とし穴を探り、よりよいほめ方を考えていきます。

### 特集2 年度末、学級での「別れのワーク」

イレギュラー続きの今年度。しかし、それでも年度末はやってきます。今年度に一区切りつけ、子どもたちが笑顔で新年度を迎えるための準備として、年度末に行う「別れのワーク」を紹介します。



# 学校教育相談

2021年 令和3年 1月号

定価 820円 (本体 745円)

2021年1月1日発行

●発行所

## ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所


●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

## ほんの森掲示板

- ・2021年1月増刊号『「気になる子」が通常学級に溶け込む！10の理論・10の技法』が発行になります。発達障害がある、またはその傾向があるなどの「気になる子」。そうした「気になる子」が通常学級に当たり前のように「溶け込む」学級づくりのための、「10の理論・10の技法」がテーマです。著者の曾山和彦先生が、全国の学校を参観する中で紡ぎあげてきた内容が、事例やイラストとともに紹介されています。
- ・増刊号が配本されなかった方は、巻頭の綴じ込みチラシの注文書を書店にお渡しください。

● 本誌の2021年4月号からの1年間の誌代は12,340円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

●  **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ☆詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索